

1. 群馬県地域環境保全基金の残高等

		金額 (単位:円)	備考
①	基金総額 (前年度末基金残高)	357,746,913	
	内訳	うち、国費相当額	178,873,456
		うち、地方負担相当額	178,873,457
		うち、負担附寄附金等	0
②	基金運用益	1,768,986	
③	その他収入	0	
④	負担附寄附金等	0	
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額 (処分額)	18,998,775	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	340,517,124	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	170,258,562
		うち、地方負担相当額	170,258,562
		うち、負担附寄附金等	0

2. 保有割合

	次年度の基金類型	取崩型	金額 (単位:円)	備考
⑧	基金残高		340,517,124	
⑨	事業費 (次年度から終了年度までの見込額)		383,078,000	
⑩	保有割合		0.889	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠
 運用型：運用益見込額÷事業費 (次年度見込額)
 取崩型：基金残高÷事業費 (次年度から終了年度までの見込額)

3. 事業一覧

番号	事業名	合計	事業費		備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)
			一般財源等	基金充当額				
1	環境学習	2,566,506	251,520	2,314,986		32%	5,000,000	44,024,000
2	生ごみ減量化取組強化	660,000	0	660,000		32%	0	6,720,000
3	尾瀬学校 (芳ヶ平湿地群環境学習を含む)	17,190,148	1,166,359	16,023,789		14%	39,500,000	332,334,000
4		0						
5		0						
6		0						
7		0						
8		0						
9		0						
10		0						
11		0						
12		0						
13		0						
14		0						
15		0						
合 計		20,416,654	1,417,879	18,998,775			44,500,000	383,078,000

4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	2018年度から2027年度までの環境学習参加者を189,700人にする。	
	成果実績	36,887
	目標値	189,700
	達成度	19%

令和2年度 事業報告書

事業名	環境学習	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成14年度
担当部署	環境森林部環境政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<目的>

感受性豊かな小中学生を中心とした「こども」に対し、教材の提供や実験等を通じた体験型の環境学習を行うとともに、地域に密着した環境学習の機会を提供し、身の回りの環境に関する問題意識を意識づけることにより、自ら環境問題を考え、行動することのできる人材を育成する。

<目標>

動く環境教室の受講者：年間5,000人以上、10年間で50,000人以上

2. 概要

- ・動く環境教室（エコムーブ号）や、こどもエコクラブ（群馬県事務局事業）の実施により、小中学生を中心としたこども達に体験的な環境学習の機会を提供する。
- ・隔年で、県内の小学校に環境学習の副読本として「こども環境白書」を配布する
- ・地域環境学習事業の実施により、県民が、環境との関わりについて学び、考え、行動するための機会を提供する。

3. 根拠法令等

環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律

4. 実施内容等

- 1 動く環境教室（エコムーブ号）
 - ・小中学校からの要望に応じ、実験機材等を搭載した「エコムーブ号」を派遣。
 - ・ボランティアの「環境学習サポーター」により、2校時を使い、地球温暖化、大気、水等の環境問題について、実験を中心とした体験的な環境学習を実施。
 - 実施件数：59件、参加者数：3,182名（新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、参加者数は減少）
- 2 こどもエコクラブ群馬県事務局運営
 - ・毎年8月に自然観察を中心とした「おもしろ体験してみ隊」を、毎年1月に県内のエコクラブの活動を発表する交流会を開催。
 - ・学習会参加者数は33名、交流会は中止（新型コロナウイルス感染症の影響のため）。
 - ・年間の活動をまとめた活動事例集を1400部発行。
- 3 環境学習の副読本として、「こども環境白書」を県内の小学校に配布（隔年）。
- 4 地域環境学習事業
 - ・環境団体等から提案された企画の中から8企画を選定し、地域における県民向け環境学習講座等の実施を委託。
 - 参加者数：550名

令和2年度 事業報告書

事業名	環境学習	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成14年度
担当部署	環境森林部環境政策課	終了年度	令和9年度

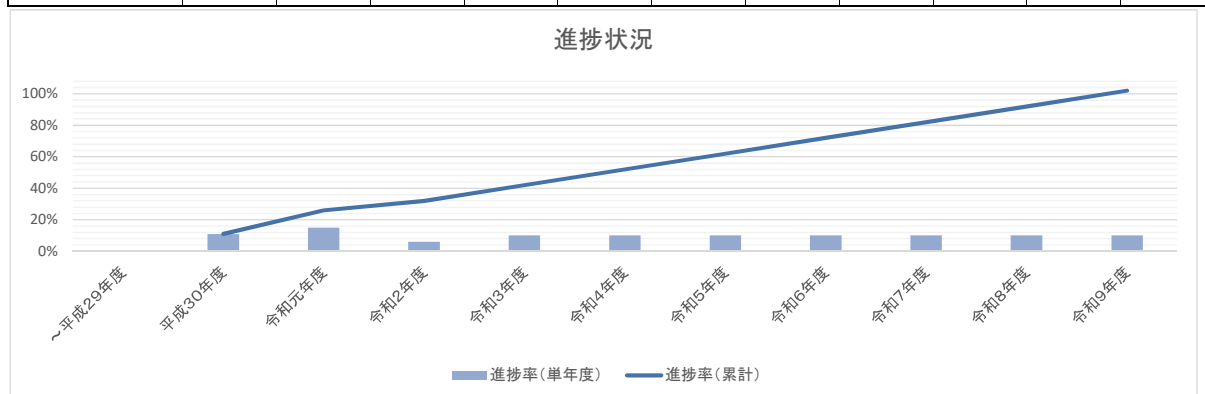
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	959,800	173,444	786,356	
旅費	0	0		
需用費	1,013,729	36,009	977,720	
役務費	70,067	42,067	28,000	
委託料	315,000		315,000	
使賃料	0		0	
備品費	191,510		191,510	
負担金・補助金	16,400		16,400	
合計	2,566,506	251,520	2,314,986	(単位：円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		2,257	4,452	2,315	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
事業費(累計)		2,257	6,709	9,024	14,024	19,024	24,024	29,024	34,024	39,024	44,024

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		11%	15%	6%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
進捗率(累計)		11%	26%	32%	42%	52%	62%	72%	82%	92%	102%



令和2年度 事業報告書

事業名	生ごみ減量化取組強化	新規・継続区分	新規
事項名		開始年度	平成31年度
担当部署	環境森林部気候変動対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p><目的> 県内で排出されるごみの中で大きな割合を占める「生ごみ」の減量に向け、県民への広報啓発活動を強化し、生ごみ減量を促進する。</p> <p><目標> 連携する団体が行う学習会等の参加者数：年間600人以上、9年間で5,400人以上</p>

2. 概要

<p>日々の生活に身近な「生ごみ」の減量のため、生活に密着した活動を行っている団体（生活協同組合コープぐんま）に業務委託し、団体の組合員の中から選任された推進員が、学習会の開催や地域イベントでの広報啓発活動等を実施することにより、県が推進する「3キリ運動」、「30・10運動」をはじめとした、県民の生ごみ削減に向けた自発的な活動を促す。</p>
--

3. 根拠法令等

<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条の6 都道府県廃棄物処理計画の達成の推進</p>
--

4. 実施内容等

<p>1 普及啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗利用者や宅配利用者に対する啓発チラシ等の作成・配布 ・コープぐんま広報誌への啓発記事の掲載 ・コープぐんま組合員から普及啓発活動を行う推進員選任 ・ブロック委員会主催の学習会開催 （新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部学習会を中止） <p>2 調査研究事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売期限の近い商品の購入「てまえどり」の普及啓発の効果検証 陳列棚に「てまえどり」啓発POPを掲載し、掲載前後2ヶ月の廃棄ロス率を比較。 ・食品ロスダイアリーを活用した家庭系食品ロス発生量の調査研究 10世帯で実施。 	<p>チラシ：278,100部作成 広報誌作成部数：235,600部 61名を選任 学習会参加者：55名</p>
---	--

令和2年度 事業報告書

事業名	生ごみ減量化取組強化	新規・継続区分	新規
事項名		開始年度	平成31年度
担当部署	環境森林部気候変動対策課	終了年度	令和9年度

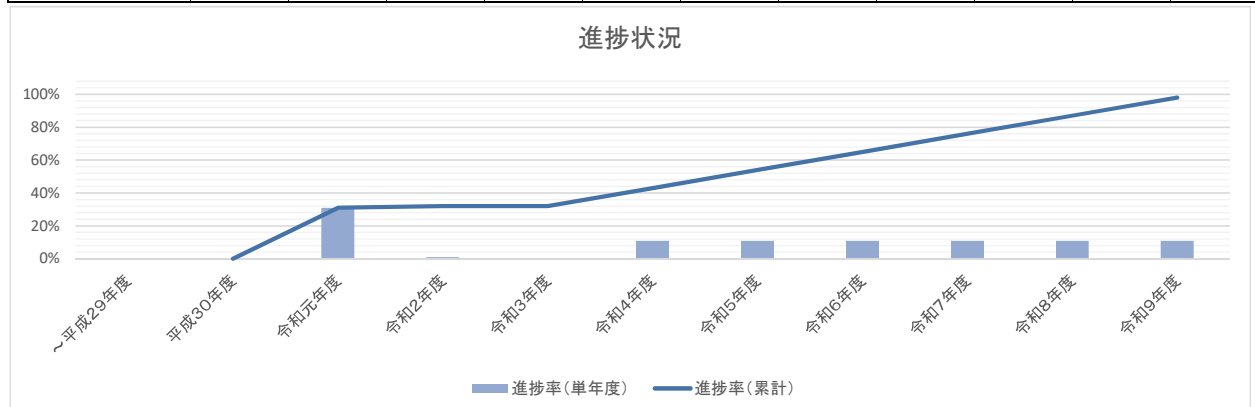
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	660,000		660,000	
負担金	0			
合計	660,000	0	660,000	(単位：円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)			660	660	0	900	900	900	900	900	900
事業費(累計)		0	660	1,320	1,320	2,220	3,120	4,020	4,920	5,820	6,720

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)			31%	1%	0%	11%	11%	11%	11%	11%	11%
進捗率(累計)		0%	31%	32%	32%	43%	54%	65%	76%	87%	98%



令和2年度 事業報告書

事業名	尾瀬学校（芳ヶ平湿地群環境学習を含む）	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成30年度
担当部署	環境森林部自然環境課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<目的>
群馬の子供たちが小中学校在学中に一度は尾瀬等を訪れ、質の高い自然体験をすることにより自然保護の意識を醸成するとともに、郷土を愛する心を育む

<目標>
尾瀬学校等について、2027年度までに参加人数17,000人にする。

2. 概要

小中学校等（群馬県内に設置された小学校（特別支援学校の小学部を含む。）及び中学校（中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。）をいう。以下同じ。）が尾瀬等において少人数のグループで一定の要件を有するガイド（以下「ガイド」という。）を伴った環境学習を実施する場合、その経費の一部に対し補助金を交付する。

3. 根拠法令等

4. 実施内容等

県内の小中学校が尾瀬等においてガイドを伴った環境学習を実施する場合、学校の設置者（市町村・学校法人）に対してガイド料及びバス代等を補助した。新型コロナウイルス感染症の影響により、実施率は例年よりも大幅に減少した。（参加学校数：34校、参加人数：1,993人）

補助額は、ガイド料はガイド1名あたり20,000円を上限とし、バス代は原則1日分の借上げ料実費（ガソリン代、高速代、駐車料金含む）を補助するが、児童生徒の健康を配慮して宿泊で実施する場合は2日分実費を補助する。また、尾瀬内の山小屋に宿泊する場合は、ガイドの宿泊料等の経費を補助対象とした。

事業の実施にあたっては、県教育委員会で作成した学習プログラムを参考に、学校でガイドによる事前学習を行い、当日は児童生徒約8人に対し一人のガイドを配置し、きめ細やかな解説を行う。学習プログラムでは事後学習にも触れ、教育の一環として学習効果が高まるよう配慮している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症を踏まえ、現地体験における感染予防対策ガイドライン作成、ガイドへの手指消毒液の配布等を行った。

令和2年度 事業報告書

事業名	尾瀬学校（芳ヶ平湿地群環境学習を含む）	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成30年度
担当部署	環境森林部自然環境課	終了年度	令和9年度

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	0			
旅費	0			
需用費	1,448,959	634,959	814,000	
役務費	320,000		320,000	
委託料	0			
使賃料	772,000		772,000	
備品費	0			
負担金・補助金	14,649,189	531,400	14,117,789	
合計	17,190,148	1,166,359	16,023,789	(単位：円)

年度(単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)			39,500	16,024	39,500	39,500	39,500	39,500	39,500	39,500	39,810
事業費(累計)		0	39,500	55,524	95,024	134,524	174,024	213,524	253,024	292,524	332,334

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		7%	6%	1%	9%	10%	10%	11%	11%	12%	13%
進捗率(累計)		7%	13%	14%	23%	33%	43%	54%	65%	77%	90%

